

Activity Report

奈良YMCA活動報告 2024—2025



スイミングレギュラーコース



サッカークラス



あきしのこども園



バレエフェスティバル



Vision

互いを認め合う

「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。「ポジティブネット」Positive Net は、日本の YMCA が作った造語で、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本の YMCA は、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

ー YMCA が実現したい世の中の姿 ー

奈良YMCAの沿革

- 1962年 奈良YMCAを発足し、奈良市角振町にて地域の青少年を対象としたプログラムを始める
- 1967年 財団法人設立の認可を受け登記する
- 1970年 奈良市西大寺国見町に青少年センターを建設する
- 1980年 別館（芸術文化センター）を建設・開所する
- 1982年 創立20周年記念事業としてスイミングプールが建設される
- 1994年 韓国・慶州 YMCA とパートナーシップを締結する
フリースクールを開校する
- 1995年 阪神淡路大震災救援ボランティアを募集、延べ約1,800名のボランティアが救援活動を実施
- 1996年 秋篠町に新サッカーグラウンドをオープンする
- 1997年 発達障がい児・者サポートクラスを開校する
- 1998年 「奈良 YMCA の使命」を制定する
中国・西安 YMCA とパートナーシップを締結する
- 2012年 創立50周年記念事業として第1回奈良YMCA国際チャリティランを開催
- 2013年 奈良県より公益財団法人として認定を受け、公益財団法人奈良 YMCA と移行する
- 2014年 奈良市より社会福祉法人の認可を受け、社会福祉法人奈良 YMCA 福祉会を設立する
- 2015年 児童発達支援事業所ことりクラブ開設（5月）
YMCA あきしの保育園を開園（8月）
- 2016年 YMCA 西大寺南保育園開園（4月）
- 2017年 創立55周年記念「PRAY IN 奈良」（8月）
フィリピンカガヤンバレーリンゲージ締結（7月）
YMCA あきしの保育園幼保連携型認定こども園に移行（4月）
- 2018年 YMCA なら保育園開園（4月）
- 2021年 多機能型事業所 放課後等デイサービスおおぞら開設（4月）
- 2022年 創立60周年
- 2024年 YMCA なら保育園幼保連携型認定こども園に移行（4月）
社会福祉法人奈良 YMCA 設立10周年（11月）

奈良YMCAの誕生は…

ボランティアの熱い志から始まりました

奈良 YMCA の歴史は、奈良ワイズメンズクラブの「百世の古都奈良に YMCA を設立しよう」という祈りと願い、そしてたゆまぬ努力によって、設立に向けての歩みを始めました。

そして1962年5月1日、奈良市角振町に奈良 YMCA は誕生。設立当時から、地域の青少年を対象とした子ども会、映画会、中学生英会話クラブ、国際親善クラブや、青年のための教養プログラムとして生け花、英会話、ガイド養成など多彩なプログラムが実施されました。発足当時は様々な困難や課題もありましたが、ボランティアリーダーの養成、地域奉仕活動を YMCA の使命として取り組みました。奈良市少年院への訪問活動、肢体不自由児クリスマス会を行いました。まさに、「キリストの愛と奉仕の業」を社会に向けて具体的に実践して参りました。



【ワイズメンズクラブ国際協会とは】

ワイズメンズクラブは、YMCA の活動を支援する人々による奉仕団体として米国に誕生のち、世界各国で様々な社会貢献活動をし、2022年には100周年を迎えました。

【奈良ワイズメンズクラブ】

奈良ワイズメンズクラブは1950年に設立。
会長 林 佑幸

奈良YMCAの使命

奈良 YMCA につどう私たちは、日本 YMCA 基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを実践し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいっくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、正義と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

1998年3月31日制定 奈良 YMCA 基本原則検討委員会

愛を身につけなさい。愛はすべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙 3 章 14 節

ご挨拶

奈良 YMCA は創立以来、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の業を学び、青少年の全人的な成長と、世代を超えた地域の方々の「いのち」が輝く活動に取り組んできました。今日の激しい社会変化や、超高齢化社会の中で社会的に孤立している方々が増加傾向にあります。2024年度は、これら課題の根源である「つながりの希薄化」の解決に向けて、「人」と「人」とのつながりの間に YMCA が使命を果たし、個々の存在が尊重されることで、神様から与えられた「いのち」をより豊かにすることができる社会を目指して活動してまいりました。そして世界から奈良、奈良から世界へつながっていることを感じながら、奈良 YMCA に連なるすべての人が一つとなることを目指し、特に「未来ある子どもたちの育ちを支える」、「ポジティブネットのある豊かな社会実現のために、人と人とのつながりの希薄化解消に向けて活動する」ことに力点を置き活動を致しました。

財団法人では、4月から奈良市子育て支援拠点事業（伏見地区）を受託し、「子育て広場エンジェル」として運営を開始しました。0歳から3歳までのお子様とその保護者の方が、いつでも気軽に立ち寄り自由に過ごせる場所です。主に近隣の地域の方々にご利用いただき、広場を通じてお友だちや地域の情報を得たりするなど、好評を得ることができています。また、YMCA 保育園、こども園への入園につながるなど縦横のつながりが生まれてきました。

社会福祉法人では、11月4日に「社会福祉法人奈良 YMCA 設立10周年感謝会」を YMCA あきしのこども園で開催いたしました。当日の感謝会には、奈良 YMCA の常議員、社会福祉法人奈良 YMCA の理事・監事・評議員の皆さまをはじめ、設立当初よりお世話になっている地域の方々や奈良ワイズメンズクラブの皆さま、YMCA 保育園当初から継続勤務の職員、公益財団法人の職員など多くの方にご出席いただきました。当日のプログラムは、奈良 YMCA チャプレンの平松 麻那先生（日本基督教団奈良教会主任教師）の司式による礼拝で神様に感謝の祈りを捧げました。続いて式典として濱田理事長などの挨拶の後、作家の寮 美千子さんをお招きし「困った子は困っている子」と題した記念講演を行いました。

これからも公益財団法人、社会福祉法人が一枚岩となって、愛と奉仕の業を実践し、互いを認め高め合うポジティブネットのある豊かな社会創造に努めてまいります。今後も YMCA をお支えいただきますようお願い致します。

感謝とともに、2024年度活動報告とさせていただきます。



会長 北林 秀彦



常議員会議長 前田 敏宏



総主事 上地 信親

青少年センター



新体操クラス



小学生基礎体育クラス

青少年センター

未就園児クラスは、2歳児の総合教育クラス（こぐまクラス）として実施しました。幼稚園に入園する前に初めて母子分離を経験し、集団生活の中で、製作や歌、楽器やリズム体操、体育館での運動遊びを体験し学びました。5月は平城宮跡、10月には芋ほり体験、親子遠足で楽しい時間を過ごしました。初めての母子分離で保護者の方々とコミュニケーションや報告を密に行い、子どもたちや保護者の方々と良い信頼関係を作ることが出来ました。クリスマス会ではダンスと歌、年度末には劇を発表し、子どもたちの成長した姿を保護者の方にも見ていただく事が出来ました。

幼児基礎体育クラス・小学生基礎体育クラスは、一人ひとりの子どもたちにあった指導を大切にプログラムを実施しました。種目ごとのバッジテストを実施しておりますが、獲得したバッジの結果よりも、分習法を用いながら、子どもたちがその過程でどのような工夫をして成長したかを大切にクラス運営しました。成長する中で、子どもたちが出来るようになったことに自信をつけ、さらに次の段階へチャレンジしていく姿がたくさん見られました。また、今年度、小学生基礎体育クラス内で1月から2月にかけて4週間、大縄チャレンジを実施しました。4クラス合同で2025回を目標にし、2500回を達成しました。この取り組みで、クラス内での結束力や曜日を越えた繋がりをを感じる事が出来ました。

ユーススポーツコースは、サッカー、器械体操、新体操、バスケットボールの初心者対象コースを始めとし、サッカー、新体操ではより競技的に取り組む選手コースも設定し、それぞれのニーズに応じたプログラムを提供する事が出来ました。全てのクラスで個々の成長に寄り添い、一人ひとりにあった指導や言葉がけを大切にしながら、スポーツを楽しむことをテーマに取り組んでいます。また、プログラムの中で、頑張れば手が届く一歩先の目標設定を大切にしながら、技術を向上していく事が出来ました。幼児プログラムに参加いただいていたあきしのこども園やならこども園のお友だちもユーススポーツコースに多く在籍しており、青少年センターとこども園での繋がりがよりプログラムを通して感じております。

野外活動は今年度も小学生対象のトムソーヤクラブ、幼児対象のげんきっこクラブを実施しました。ユースリーダーが中心となって毎月のプログラムを企画し、自炊体験・野外フィールドでの活動など、集団の中でさまざまな感性を育む貴重な体験を提供できました。プログラムを通して、子どもたちの成長と共に、次世代を担っていくユースリーダーの活躍の場も提供する事が出来ました。



ハチ高原わくわくスキー



ハチ高原ネイチャーキャンプ

野外特別事業

夏季プログラムは山のキャンプ（1泊2日）1コース・海のキャンプ（2泊3日）1コース・5年ぶりにYMCA 合同富士登山キャンプ～日本一の山を登山・ご来光を目指して～（3泊4日）1コースを実施致しました。

冬季プログラムは、幼児ゆきあそびキャンプ（1泊2日）1コース、小学生ハチ高原わくわくスキーキャンプ（2泊3日）1コースを実施しました。

春期プログラムは、幼児デイキャンプ1コース、幼児小学生デイキャンプ1コース、小学生キャンプ（1泊2日）1コースを実施しました。

夏季プログラムのハチ高原ネイチャーキャンプでは、ウェットスーツを着てヘルメットを被り、自然の急流滑りや滝つぼに飛び込む体験学習も行う事が出来ました。また、5年ぶりに長期キャンプであるYMCA 合同富士登山キャンプを実施しました。大盛況で終える事が出来ました。

冬季プログラムは、去年とは違い、寒波で積雪量も多くスキー実技を有意義に行う事が出来ました。

春期プログラムの幼児ピザ作りデイキャンプではピザをピザ窯で作り「美味しい」と言って食べていました。幼児小学生ワールドデイキャンプでは、世界の国の食べ物を自炊で作りました。小学生吐山よくばりキャンプでは、自炊・アスレチックなど自然を満喫プログラムを企画しました。

夏のスポーツキャンプは3コース・集中クラス4コースを設定し、たくさんのお友だちが参加してくれました。

夏季のスポーツ集中コースの4日間鉄棒・マットチャレンジでは、鉄棒が出来なかったお友だちが、出来るようになり「来て良かったです。」という声を頂きました。

春季のスポーツ集中コース4日間では、冬季のスポーツ集中コースで出来なかった跳び箱が跳べるようになり、笑顔で喜んでいました。



スポーツ教室



サッカー



野外自然学校



野外活動トムソーヤクラブ



フリースクールデッサン



フリースクール館外活動

フリースクール

日常は、例年通り午前学習、午後体育を行いました。
 その中でスクール生一人ひとりが、同じ空間を共にする他者とのように関わってほしいかを学んだ一年でした。
 毎年恒例のクリスマスコンサートでは、一人ひとりが自分の気持ちに向き合いながら新しい事にチャレンジし、本番では緊張しながらも堂々と演奏する事が出来ました。
 学習も個々のペースを大切にしながら一人ひとりに寄り添った学習支援を行いました。
 また、月一回の芸術の日では、色遊びやキャンパスに絵を描くなど、様々なアートを楽しみ、スクール生はのびのびと自分を表現していました。
 そして、様々な場所へ出かけることによって体験や経験が増え、視野も広がって他者理解に繋がりました。
 今後も居場所を必要とする人たちに寄り添いながら支援をしていきたいと思います。

2024年度の歩み

フリースクール

4月27日(土) いちご狩り
 5月22日(水) 春の遠足(生駒山麓公園アスレチック)
 5月27日(月) 茶道体験(福寿園CHA遊学パーク)
 6月11日(火) 社会見学(京都市青少年科学センター)
 7月 8日(月) 夏の遠足(京都水族館)
 8月24日(土) 交流会
 11月 8日(金) 秋の遠足(平城宮跡サイクリング)
 12月15日(日) クリスマスコンサート(やまと郡山城ホール)
 1月20日(月) 映画鑑賞会(イオンシネマ高の原)
 2月26日(水) 芸術鑑賞会(奈良県立美術館)
 3月15日(土) 卒業・修了式「あなたが主役」

2024年度の歩み

青少年センター

5月 4日(土・祝)～ 6日(月・祝) 全国リーダー研修会
 5月17日(金) 未就園児(こぐまクラス)平城宮跡ハイキング
 6月15日(土) 夏季プログラム会員受付開始
 6月22日(土) 夏季プログラム一般受付開始
 7月23日(火)～24日(水) 新体操羽衣キャンプ
 7月24日(水) 夏季プログラム開始
 7月25日(木)～26日(金) 器械体操キャンプ
 7月28日(日)～31日(水) 体操集中コースⅠ期
 7月28日(日)～29日(月) サッカー淡路キャンプ
 8月 1日(木)～ 3日(土) サッカー集中コース
 8月 4日(日)～ 5日(月) 幼児やまびこキャンプ
 8月 6日(火)～ 8日(木) 阿南海洋キャンプ
 8月16日(金)～18日(日) ハチ高原ネイチャーキャンプ
 8月19日(月)～22日(木) 体操集中コースⅡ期
 8月21日(水)～24日(土) 京都YMCA合同富士登山キャンプ
 10月20日(日) 奈良YMCAチャリティラン
 10月25日(金) 未就園児(こぐまクラス)芋掘り
 10月26日(土) 冬季・春季プログラム会員WEB受付開始
 11月 2日(土) 冬季・春季プログラム一般WEB受付開始
 11月10日(日) 奈良YMCA国際協力募金街頭募金活動
 12月 8日(日) 奈良YMCAジョイフルクリスマス
 12月24日(火) 幼児特別プログラム クリスマスデイキャンプ
 12月25日(水)～28日(土) 体操集中コースⅠ期
 1月25日(土)～26日(日) 幼児ゆきんこキャンプ
 1月31日(金)～2月2日(日) ハチ高原わくわくスキーキャンプ
 2月11日(火・祝) 小学生特別プログラム 雪遊びデイキャンプ
 3月 1日(土) 2025年度新年度新規会員WEB受付
 3月16日(日) 奈良YMCAリーダー卒業感謝礼拝
 3月23日(日) 幼児ビザ作りデイキャンプ
 3月25日(火) 幼児・小学生ワールドクッキングデイキャンプ
 3月26日(水)～27日(木) 吐山よくばりキャンプ
 3月28日(金)～31日(月) 体操集中コースⅡ期
 3月29日(土)～31日(月) サッカー春合宿
 4月 1日(火)～ 3日(木) サッカー集中コース

青少年センター

内 容	参加者数	活動日
幼児クラス (年間)	146名	月～土
少年体育クラス (年間)	45名	月・火・金・土
ユーススポーツクラス (年間)	326名	火～日
野外活動クラブ (年間)	50名	日
知的障がい児体育クラス (年間)	3名	月

野外特別事業

内 容	参加者数	活動日
夏季キャンプ	90名	7月・8月
夏季体育集中クラス	89名	7月・8月
冬季・春季キャンプ	185名	12月・3月
冬季・春季体育集中クラス	100名	12月・3月

フリースクール

内 容	参加者数	活動日
フリースクール	5名	月・火・水・金・土



心のフリースクール

スイミング・ ウエルネス

レギュラーコース

2024年度は、既存のプログラムだけでなく、新規プログラムにも取り組みました。会員の満足度を高めるために、ワッペンテスト前にフォローアップのクラスを実施しましたが、多くの方が参加され、満足度の高いプログラムとなりました。ファミリースイミングなど、家族で参加できるプログラムを実施した事によって、家族の絆を深める事ができ、参加された家族からは、楽しかった、また実施して欲しいなど、多くの喜びの声を聞く事ができました。地域の活動としては、近隣小学校の水泳指導や着衣水泳指導、また職場体験の受け入れなど、地域の活動にも貢献する事ができました。毎年、実施しているウォーターセーフティーキャンペーンの活動も全国 YMCA で協同しながら取り組むことができました。

短期集中

夏休みと春休みに、短期水泳を実施し、多くの子ども達が参加してくれました。ベビースイミングでは親子の触れ合いを感じる事ができ、少人数のレッスンでは満足度の高いレッスンを実施でき、とても好評でした。短期水泳は5日間連続で行う事により、目に見えて泳力の上達に効果があります。最終日、ワッペンテストに合格し、喜んでいる子ども達を多く見る事ができました。

ウエルネス

ウエルネスは、会員の皆様の心と身体の健康を守る為に、プールプログラムや、ヨガ教室、ストレッチ教室など、個々にあったプログラムを提供してきました。会員の一人一人に寄り添い、いつまでも、心身ともに、いきいきとした生活を送れるように取り組んできました。

また、2024年度は数年振りにデイキャンプを実施しました。多くの方が参加され、『とても楽しかった』『また、実施して欲しい』など、満足度の高いプログラムを実施する事ができました。会員の方からは、YMCA が生きがいであり、YMCA に来ると元気になるという声をいただいています。

2024年度の歩み

4月21日(日)	奈良県ジュニア春季水泳記録会(スイムピア奈良)
6月16日(日)	ウォーターセーフティーキャンペーン
6月15日(土)～16日(日)	奈良県選手権水泳競技大会 兼奈良県ジュニア選手権水泳競技大会 兼全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会予選会(スイムピア奈良)
7月28日(日)	奈良県ジュニア夏季水泳記録会(スイムピア奈良)
8月15日(木)～16日(金)	全国YMCA水泳大会(東和薬品ラクタブドーム)
11月 3日(日・祝)	奈良県ジュニア秋季水泳記録会(スイムピア奈良)
11月17日(日)	YMCA水泳交歓会 京都YMCA
1月12日(日)	奈良県ジュニア新春水泳記録会(スイムピア奈良)
1月19日(日)	中日本水泳大会
2月15日(土)～16日(日)	大阪YMCA(東洋薬品ラクタブドーム) 全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会予選会(スイムピア奈良)



レギュラークラス



着衣水泳



ウエルネスコース

スイミングレギュラーコース

内 容	参加者数	活動日
幼児・小学生水泳クラス (年間)	761名	月～日
障がい児水泳クラス (年間)	3名	日

スイミング短期集中

内 容	参加者数	活動日
夏休み水泳教室	374名	7月・8月
春休み水泳教室	115名	3月

ウエルネス

内 容	参加者数	活動日
ウエルネスコース (年間)	144名	月～日
スクールコース (年間)	30名	月～土



スイミング教室

芸術文化センター



スプリングアート・アロマストーン



デッサンクラス



ピッコロクラス音楽サークル



バレエフェスティバル



アートアカデミー作品展



ウインタースクール・ハンカチ&靴下染め

音楽院

2024年度の音楽院の新しい試みとして、「ピッコロクラス音楽サークル」という活動を行いました。音楽・歌唱・身体活動を楽しみながら相互的な交流をもち、その結果として、集団行動に慣れ、コミュニケーションや社会性の向上を目指すことや、純粋に「おながく」を友だちと楽しむことをねらいとして企画し、活動しました。2024年度は、2回サークル活動を行い、打楽器をみんなで叩きながらリズムを奏でたり、先生の出すリズムを真似する等一人では味わえない経験ができました。サークルの最後には、1曲を好きな楽器を選んで合奏することにチャレンジしましたが、生徒のみなさんの表情は笑顔で、触ったことのない楽器に触れるなど、楽しい時間となりました。引き続き、サークル活動を続け、ピッコロコンサートで築き上げた成果を発表できることを目標にしていきたいと思います。

アートアカデミー

今年度は、2年に1回の「奈良 YMCA バレエフェスティバル」を2025年3月に開催致しました。2025年3月が本番でしたので、昨年の5月に構成をおよそ決めて、7月から演技指導に入り練習に励みました。違う曜日のお友だちと一緒に踊る演出があるので、時間を合わせて一緒に踊ったり、参加者全員が集まる合同練習会も行いました。幼児から成人の方が勢ぞろいし、同じ目標を持つ仲間の演技を見ながらフェスティバルまで切磋琢磨しながら本番を迎えました。当日は、みんな生き生きとした表情で練習の成果を見事に発揮できました。うまく踊れなかったり表現できない振りもありましたが、本番を終えると充実感が満たされました。当日は、保護者の方々にもご支援いただき、みんなで一体となって開催できたフェスティバルとなりました。

サマースクール・ウインタースクール

4日間日帰りでYMCAに通う、サマースクール、ウインタースクールは好評で、定員を上回る子どもたちの参加でした。お出かけでは、堺市の「ビッグバン」や「明治工場」へ行きました。公共交通機関を利用した移動で、マナーを守ることや施設の方のお話を静かに聞くことも考えながら過ごしました。人間関係が希薄になっている社会で、このプログラムは子ども同士の関わりが深まり毎日が学校のような雰囲気の中で実施する意義を感じました。

アートコースでは、今まで成人の方を対象にしていた「アロマストーン」を小学生から参加できるように対象を広げると、皆、小学生の参加でした。大人では考えもしないことを、子どもたちは思い付き、創造性が膨らんだ素敵な作品が完成しました。また、機械学習が普及している今、自分の手で書くことが少なくなっておりますので、もう1度「手書きの良さや魅力」を体験していただく書道体験3日間を冬期と春期に実施し、たくさんの方にご参加いただきました。又、2025年度より、書道クラスを1クラス増設することになりましたので、引き続き「書」の魅力を伝えていきます。

2024年度の歩み

6月15日(土)	サマーアート一次web受付
6月22日(土)	サマーアート二次web受付
7月14日(日)	ピッコロクラス音楽サークル①
7月21日(日)～24日(水)	サマースクール 4日間
7月24日(水)～26日(金)	サマーアート 書道毛筆体験3日間
7月28日(日)	サマーアート 「リボンローズブーケ」
10月13日(日)	ピッコロクラスコンサート
10月26日(土)	ウインター・スプリングプログラム一次web受付
11月 2日(土)	ウインター・スプリングプログラム二次web受付
11月 3日(日)	二科展表彰式
11月24日(日)	第49回音楽院コンサート1日目
12月 1日(日)	第49回音楽院コンサート2日目
12月14日(土)	ウインターアート 「リボンローズ水引き」
12月25日(水)～28日(土)	ウインタースクール 4日間
2月 9日(日)	ピッコロクラス音楽サークル②
3月25日(火)～27日(木)	スプリングアート 「書道体験3日間」
3月30日(日)	スプリングアート 「アロマストーン」

音楽院

内 容	参加者数	活動日
幼児・青少年音楽クラス (通年)	38名	月～日
成人音楽クラス (通年)	120名	月～日
音楽療育クラス (通年)	30名	月～土

アートアカデミー

内 容	参加者数	活動日
幼児・小 絵画造形クラス (通年)	20名	水・土
成人創作クラス (通年) 洋画・油絵・デッサン	21名	金・土・日
少年・成人書道 (通年)	17名	火・日
バレエクラス (通年)	28名	月・金・日
絵画療育クラス (通年)	14名	火・土
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	23名	1回 (夏期)
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	18名	1回 (冬期)
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	19名	1回 (春期)
サマー・ウインタースクール (季節)	34名	年間2期



音楽院・アートアカデミー

発達支援事業

児童発達支援“ことりクラブ”

放課後等デイサービス“おおぞら”



ことりクラブプールあそび



おおぞら運動プログラム



ことりクラブ・おおぞら合同冬の特別プログラム

児童発達支援ことりクラブの今年度は年長組が多く、年下のお友だちから慕われ、仲良く過ごせた1年でした。

製作では、ハサミを使う機会を昨年よりも多く取り入れました。年中・年長組さんは、思っていた以上にハサミの操作が上手で曲線や形を切ることができました。年少組さんも小さな手ながらもリーダーが手を添えながらチャレンジし、未就園児さんは手でちぎるという作業を行いました。製作はみんな楽しく参加し、お絵かきよりも何かを「創る」ことの方を楽しんでいました。

毎回、運動を取り入れた療育を行っています。体育館が備わっている事業所は市内でも数多くありません。そのような中で、体育館で身体を使った活動を通じて脳や神経系に刺激をあたえ、心身の向上を図り、YMCAの得意とする「楽しみながら自然に運動できるプログラム」を多く取り入れ、身体バランスを養いました。また、言葉の面で発達がゆっくりなお子様が増加しており、運動を通じて言葉の発達のサポートを図り、なかなか言葉が出ないお子様も少しずつ出てくるようになり成果が得られました。プール遊びは、他の事業所ではほとんど実施しておらずYMCAならではの取り組みです。顔に水がかかるのも嫌だった子どもが、きめ細やかで楽しいプログラムにより、潜ることができ、浮くことができ、泳ぐことができるまでの成長を遂げました。今後も小さな成長ではありますが、永い目で見守り続けていきます。

おおぞらは、「コミュニケーションスキル」や「ライフスキル」を身につけることを目標としています。

今年は、「助けを求めよう」を取り上げた1年でした。困っているのに、「手伝って」や「どうしたらいいの?」「教えて」となかなか言葉で表現できない子どもが多く見られましたので、「助けて」「手伝って」と言わざるを得ない状況が生まれるプログラムを企画し、言われた側も、「いいよ」と一方的なことではなく、お互いに助けあう相互的なつながりが大切だということプログラムを通して子ども達に伝えてきました。ハキハキとまではいかなくても、「手伝って・教えて」と言えるように変化も見えてきました。人と人がつながることを大切に、喜びや感謝、助け合う気持ちが育まれ豊かな人生をおくれるよう寄り添った支援を行い、「おおぞら」という場所が、子ども達にとって特別な居場所となるよう努めていきます。

2024年度の歩み

4月 6日(土)	放課後等デイサービスおおぞら新規登録者説明会
4月15日(月)	ことりクラブ・おおぞら2024年度開始
5月～7月・9月	ことりクラブプール活動 毎週木曜日午前(全15回)
12月 8日(日)	ことりクラブ・おおぞら合同冬の特別プログラム「ビッグバンへ行こう」
3月17日(月)	ことりクラブ・おおぞら2024年度終了
3月29日(土)	おおぞら春の館外プログラム「石山寺へ行こう」

内 容	参加者数	活動日
児童発達支援 ことりクラブ	22名	月～金
放課後等デイサービス おおぞら	34名	月・火・水・金・土



発達支援

子育て支援事業

アフタースクール “ポップクラブ”

2024年度は、28名の登録でスタートしました。今年も、たくさんの1年生がポップクラブの門をたたき、更に活気あふれるクラブとなりました。荷物の管理やポップクラブの流れに慣れない4月、上級生たちは仲間が増えたことが嬉しくて、優しく面倒を見てくれました。段々と慣れてくると、横の繋がりがからたての繋がりにへと広がっていき、1年の最後にはみんながまとまってくるのが目に見え、成長を感じました。

主体性を育むため、教室内でどんな遊びをするのか、クリスマス会での司会やうたの指揮者など決めるのも、子どもたち中心になって決めていきました。思い通りにならない時や、気持ちののらないときはいつもリーダーが側にいてくれ、今年は特に学生ユースリーダーがたくさん関わってくれ、子どもたちも大喜びでした。

新しい取り組みとしては、長期休暇期間に午前中からポップクラブに来る子どもたちが、子育て広場「エンジェル」に出向き、少しの時間ではありますが0歳～3歳のお子様に絵本を読んだり、一緒におもちゃで遊んだりと交流の時間をもちました。なかなか小さいお子様と触れる機会のない子どもたちですが、普段のポップクラブでは見せない一面を見ることができたこと、また子育て広場「エンジェル」の保護者の方々にも喜んでもらえたことは大きな成果となりました。



アフタースクール “ポップクラブ” クリスマス会

奈良市子育て広場 エンジェル

子育て広場エンジェルは、2024年4月1日に開所しました。子育て広場は、奈良市からの委託事業で0歳から3歳までのお子様とその保護者の方が、いつでも気軽に立ち寄り自由に過ごせる場所です。主に近隣の地域の方々にご利用いただき、広場を通じてお友だちができたり、地域の情報を得たりするなど、たくさんのつながりが生まれていると感じています。親子2人家庭で過ごす話を聞か中で、気持ちに寄り添うことの大切さを改めて実感した1年でした。広場では、毎月1～2回様々な講座を開催し、YMCAの体育館を利用して十分に体を動かしたり、広場ではピアノを使って音楽遊びやリズムミックなど親子と一緒に楽しめたりする内容を取り入れ、和やかな雰囲気の中楽しんで参加されていました。長期休みの期間にポップクラブのお友だちがエンジェルに遊びに来て、絵本を読んだり、汽車の乗り物を押してもらったりとほっこりした時間を過ごし、保護者の方からも異年齢のお子様と関わりを持てた事をとても喜ばれていました。また、以前エンジェルに遊びに来てくれたお子様が、YMCA あきしのこども園、YMCA ならこども園、YMCA 西大寺南保育園へ今年度から入園されると利用者の方から聞き、身近な地域とのつながりを持てたことに嬉しさを感じました。今後も様々な人たちと関わる機会を持ち、子育て広場エンジェルが「また行きたい」「ほっとする」と感じてもらえる居場所になるよう職員一同雰囲気作りを大切に寄り添っていききたいと思います。



ふれあい遊び



講座「体育館で遊ぼう」



ポップクラブのお友だちが遊びに来たよ

アフタースクール “ポップクラブ” 2024年度の歩み

7月26日(金)	夏の館外プログラム「あそびマーレへ行こう」
8月 8日(木)	ソルトアート工作
9月24日(火)～30日(月)	上半期写真販売
12月20日(金)	クリスマス会
12月27日(金)	大掃除
1月～3月	新入会面接期間
3月13日(木)～24日(月)	下半期写真販売
*各月に誕生日会実施	

内 容	参加者数	活動日
アフタースクール “ポップクラブ”	28名	月～金 ※土曜日実施日あり

奈良市子育て広場 エンジェル 2024年度 毎月の講座

4月25日(木)	親子ふれあい遊び
5月28日(火)	ペープサート・紙芝居
6月12日(水)	エンジェルタイム(学生ボランティアの読み聞かせ会)
6月26日(水)	ママ・パパおしゃべり会
7月 2日(火)	YMCA西大寺南保育園合同 交通安全教室
7月24日(水)	エンジェルタイム
8月21日(水)	エンジェルタイム
8月29日(木)	体育館で遊ぼう
9月 2日(月)	YMCA西大寺南保育園との交流会
9月 5日(木)	YMCA西大寺南保育園との交流会
9月26日(木)	エンジェルタイム
10月22日(火)	ピアノを使って親子ふれあい遊び
11月12日(火)	パネルシアター・エプロンシアター
11月28日(木)	離乳食と食事について(YMCA西大寺南保育園管理栄養士)
12月 5日(木)	冬の感染症について・クリスマス飾りを作ろう
12月18日(水)	楽器を使って遊ぼう
12月20日(金)	子育てスポット大使の広場でクリスマス会に参加・講座実施
12月25日(水)	学童保育(ポップクラブ)との交流会
1月15日(水)	まちかどトーク「災害について」(奈良市危機管理課)
1月29日(水)	のびのび講座(母子保健課・歯科衛生士)
1月30日(木)	体育館で遊ぼう
2月 1日(土)	絵描き歌と新聞紙を使って遊ぼう
2月19日(水)	エンジェルタイム
3月 4日(火)	ピアノに合わせて手遊びと触れ合い遊び、ポンポン使ってダンス
3月25日(火)	子育てスポットいちご組お誕生日会に参加・講座実施
3月27日(木)	学童保育(ポップクラブ)との交流会



子育て支援

社会福祉事業



クッキング



神様に感謝していただきます



ピーラー使ってクッキング

幼保連携型認定こども園 YMCA あきしのこども園

今年度は乳児、幼児共に経験できる活動が増えて、保育教諭との関わりや子ども同士の関わりが深まりました。0歳児クラスは今までより早い時期に15名となり、月齢差がありましたが発達に合わせて分かれて過ごすことで、ゆったりと伸び伸びとした環境で園生活を始めることができました。高月齢児が小さい友だちに関わる可愛い姿も見られました。1歳児クラスと2歳児クラスは24名で始まりましたが、不安な気持ちをしっかり出すと少しずつ泣く姿がなくなり、好きな遊びを見つけてじっくりと遊ぶようになっていきました。「いっしょにあそぼう」「いれて」とお話をしながら、友だちと同じ遊びを楽しんでいました。夏には色々な感触遊びを経験し、大胆に遊ぶことができました。

運動会は4年振りにグラウンドで行いました。いいお天気の中、保護者の方と子どもたちの成長を見守る事ができた一日となりました。また3歳児、4歳児、5歳児とパディを組んで製作やクッキング等の縦割り保育の活動が増えました。「だいじょうぶ?」「やってあげようか?」と年下児に優しく接する年上児の姿や、今日はパディさんと遊ぶということが分かったと、保育教諭が何も言わなくてもお互い手を繋ぎに行ったり、近くにいてあげる姿が見られました。3月のお別れ会では3歳児、4歳児から5歳児へ手作りのネックレスのプレゼントをしました。すると5歳児から次の5歳児へメッセージ付きの桜の木がプレゼントされました。色々な活動を通してクラスを越えて作られる子どもたちの関係を今後も大切にしていきたいと思います。

職員みんなで子どもの視線に立って思いを共有しながら、園生活が豊かになるよう、保護者の方が安心して預けられる園を目指していきたいと思います。



1歳児

YMCA 西大寺南保育園

「小規模保育園だからこそ出来ること」を考えながら子どもたちに寄り添い、様々な経験が出来るようにしてきました。2歳児では今年は食育にたくさん取り組むことが出来ました。

春にはプランターに夏野菜を植え、水やりをしたり、草抜きをしたりお世話をする事が出来ました。夏になると収穫した野菜を食べる事で、嫌いだっ野菜が好きになる子もいました。ホウレン草やキャベツ、きのこを割くお手伝いもしました。たくさんお手伝いをしたことで、興味が薄れてきたこともあり、1歳児の子どもに移行しました。興味が薄れるくらい取り組むことが出来たと思います。その後は、チョッパーを使って野菜をみじん切りにしたり、保育士と一緒にピーラーを使って人参やじゃがいもの皮むきも挑戦しました。冬になると、クリスマスケーキを作ったり、節分の巻きずしを自分で巻いてみる経験も出来ました。また、子どもたちの目の前で、ドレッシング和えやカレー、オムライス等を作ることで、視て、音を聴いて、匂って、触って、食べてみて五感を使って感じる事が出来ました。

今年度はコロナ禍で止まっていた小規模保育園との交流会にも参加することが出来ました。奈良市にある小規模保育園7ヶ園が西部公民館の体育館に集まって、ミニ運動会を楽しみました。みんなで電車に乗って学園前まで行くのは子どもたちもドキドキワクワクした表情を見せてくれました。普段は少ない人数での保育の為、最初は圧倒されていた子どもたちでしたが、時間が経てくると、笑顔も見られるようになり、楽しんで参加することが出来ていました。あきしのこども園やならこども園との交流も出来、貴重な体験を重ねることが出来ました。ハロウィン遊びでは、「ドレスが着たいの」と子どもから発信があったので、今年度はドレスや運転手さん、かぼちゃのおばけ等の衣装を用意し、ハロウィンの雰囲気を楽しむことが出来ました。毎月2歳児は牧師先生のお話を聞いているので、神様が近くに守ってくれていることを感じています。ままごと遊びでも保育士と一緒に祈りをしてから食べる姿も見られます。散歩に行く際には「神さま見てるかな?」と子どもから言ってくれる時もあります。今年度も神様に見守られながら、子どもたちは楽しく元気に過ごすことが出来ました。



ハロウィンにて仮装中



4歳児遠足

幼保連携型認定こども園 YMCA ならこども園

2024年度4月1日からYMCA ならこども園として幼保連携型認定こども園に移行しました。園の特色として「神様からいただいている自然をたくさん感じる保育」「自然体験をたくさん楽しむ」ことを大切にスタートしました。4歳の遠足はYMCA ともゆかりある、奈良市の黒髪山キャンプフィールドへ出かけました。バスが途中から入れない道も自分で歩き、期待とともにキャンプ場へ入場しました。キャンプ場の中で自然探索や多くの植物や生き物との出会いを楽しみました。こどもたちは貸し切りの森をとっても喜び「キャンプしたい!」「帰りたくないよ～」と声があがるほどでした。5歳児は遠足、お泊りキャンプともに京都 YMCA のリトリートセンターへ出かけました。こちらも自然豊かな場所で挑戦できるプログラムを体験しました。野外での自炊に大喜びし、クラフトづくりでは自分たちで自然物を集め作品作りを楽しみました。ピザ窯でピザを焼き、焚火で自然の持つ力を学びました。雨の中、森を探索したくてレインコートを着用しての探検には大興奮でした。友だちと協力する、自然に触れる、YMCA のキャンプらしさを体験できた5歳児でした。このような魅力的な体験は幼児期だけではなく、乳児期からも大切にしています。天気の良い日は園庭に出て探索活動や散歩車に乗って近所の公園へ出かけます。乳児の0歳からお散歩にたくさん出かけ、日光浴からはじまり自然をたくさん感じます。1、2歳児はグループに分かれて午前のおやつを持って平城宮跡へお散歩にいく日もありました。外で食べるお茶とお菓子のおいしいこと!こどもたちはいつも以上によく食べる姿から自然のパワーを感じました。どんぶり探しや鬼ごっこをたくさん楽しみました。3歳児クラスも4、5歳児クラスも平城宮跡には何度も遊びに行きました。

お正月には凧あげにも出かけました。これからも神様から恵まれた自然に感謝し、たくさんの経験を楽しみ、こどもたちと一緒に職員も成長できる環境を大切にしていきます。



5歳児リトリートセンターキャンプ

2024年度の歩み

YMCAあきしのこども園

4月23日(火)	進級式
5月24日(金)	5歳児遠足
5月31日(金)	4歳児遠足
6月 7日(金)	3歳児遠足
7月20日(土)	お楽しみ会
7月26日(金)～27日(土)	4歳児お泊り保育
10月 5日(土)	運動会
10月17日(木)	4歳児遠足
10月18日(金)	3歳児遠足
10月24日(木)	5歳児遠足
10月29日(火)	5歳児介護老人保健施設 秋篠と交流会
11月15日(金)～16日(土)	5歳児キャンプ(京都リトリートセンター)
11月25日(月)	4歳児ディサービスIKI IKIと交流
12月 6日(金)	4歳児ディサービスIKI IKIと交流
12月13日(金)	おもちつき
12月20日(金)	クリスマス礼拝
2月28日(金)	5歳児お別れ遠足(京都水族館)
3月 7日(金)	お別れ会
3月14日(金)	卒園式

YMCA西大寺南保育園

4月19日(金)	進級式
6月 4日(火)	2歳児春の遠足
7月 2日(火)	交通安全教室
10月17日(木)	2歳児秋の遠足
11月 6日(水)	小規模交流会
11月19日(火)	あきしのこども園交流会
11月26日(火)	あきしのこども園交流会
12月12日(木)	もちつき
12月19日(木)	クリスマス礼拝・祝会
1月15日(水)	ならこども園交流会
3月14日(金)	お別れ会
3月29日(土)	修了式

YMCAならこども園

4月19日(金)	5歳児遠足
4月23日(火)	進級式
5月10日(金)	4歳児遠足
5月17日(金)	3歳児遠足
5月30日(木)	5歳児園外活動
7月26日(金)～27日(土)	4歳児お泊り保育
8月30日(金)	夏祭り
9月21日(土)	運動会あそび
10月 3日(木)	交通安全教室
10月25日(金)	3歳児遠足
10月31日(木)	4歳児遠足
11月 1日(金)～ 2日(土)	5歳児お泊りキャンプ
12月12日(木)	もちつき
12月19日(木)	クリスマス礼拝・祝会
3月 7日(金)	お別れ遠足
3月22日(土)	卒園式
3月26日(水)	お別れ会

YMCA あきしのこども園

クラス年齢	在園人数
0歳児	15名
1歳児	24名
2歳児	24名
3歳児	25名
4歳児	26名
5歳児	27名
合 計	141名

YMCA 西大寺南保育園

クラス年齢	在園人数
0歳児	5名
1歳児	7名
2歳児	10名
合 計	22名

YMCA ならこども園

クラス年齢	在園人数
0歳児	12名
1歳児	16名
2歳児	16名
3歳児	20名
4歳児	17名
5歳児	18名
合 計	99名



保育園

私たちは障がいのある子どもたちを応援します。

第13回 奈良 YMCA インターナショナルチャリティーラン2024

第13回奈良 YMCA インターナショナルチャリティーラン2024が、2024年10月20日（日）に、奈良市平城宮跡で実施されました。個人ラン5kmの部22名、個人ラン2kmの部20名、グループラン2kmの部31チーム、122名。団体駅伝5kmの部10チーム、50名。総勢214名の参加があり、協力者70名、応援約150名の総勢約450名の大会規模となりました。YMCA インターナショナル・チャリティーランは、全国のYMCAが障がい児支援を目的に実施され、障がいのある子どもとそうでない子ども共に幸せに生きていくことのできる社会を目指して開催されています。

当日は天候にも恵まれ、ベビーからシニアの方まで、多世代の方が参加され、笑顔があふれていました。今年も、工夫を凝らしたコスチュームで参加される方もおり、みんなを楽しませてくれました。

競技に参加していない人も、いろいろな方楽しんでもらえるように、今年は、保育士による『うちわづくり』や『ロケットづくり』のブースを用意しました。『ロケットづくり』のブースでは、競技終了後、自分の作ったロケットを使い『ロケット飛ばし大会』も実施し、おおいに盛り上がりました。参加者や応援の方に、競技以外でも楽しんでいただく事ができました。

協賛金と参加費を合わせて、総額1,172,860円の寄付金を頂きました。この集められた収益金は障がい児やサポートを必要とする子どもたちの支援金として活用させて頂きます。大会趣旨にご賛同、ご支援、ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。



第19回 インターナショナルユースコンボケーション(IYC)



2024年11月5日（火）～10日（日）にドバイで行われました世界YMCA大会に奈良YMCAから清水芳紘（ヨッシーリーダー）、岩崎七海（ケロリーダー）2名のユースリーダーが参加しました。参加した2名のリーダーの報告です。



トムソーヤクラブ 清水芳紘（ヨッシーリーダー）

行く前は「どんな人たちがいるのか」「コミュニケーションが上手く取れるのかと不安な気持ちでいっぱいでしたが、国も年齢も違う中、同じYMCAに所属しているという共通点から、自分の国の話やYMCAでの活動を話す中で、すぐに打ち解けることができました。そして初対面とは思えないほど仲良くなり、不安な気持ち

ちはすぐに払拭されました。ディスカッションでは、世界YMCAが目標としている「世界YMCA Vision2030」の4つの課題とSDGsをもとに議論がされ、各国のメンバーと意見交換をしてアイデアを出し合いました。例えば、アフリカのメンバーからはマラリアの根絶を目標に掲げているという話

があり、「どの国の人でも地球規模の家族として助けを実行することができる。」と話されていました。日本では身近に考える機会が少ない問題にも多く触れ、視野が広がる経験でした。世界YMCAが掲げる課題を学んでいく中で、自分たちが普段日本のYMCAで取り組んでいる活動の一つ一つが少しでも課題に貢献している事を知り、これまでよりも普段の活動に対する理解度が深まったと感じます。大会中は毎日違う国の参加者と話し、一緒に食事をして仲を深め、時にはダンスやサッカーを通して国や言語を超えたコミュニケーションも経験しました。また、日本のアニメや歌の文化を発表した時には、会場全体が一体となって盛り上がり、改めて日本文化が世界への広がりを感じることができました。あつという間の一週間でしたが、今後の課題や取り組みなど学びになった部分と他では絶対に経験ができない体験など、自分にとって様々な刺激を感じることができた大会になりました。



トムソーヤクラブ 岩崎七海（ケロリーダー）

IYCに参加して特に印象的だったことはアメリカ合衆国の大統領が決まるという瞬間に様々な国の人たちの意見を聞いたことです。私たちは開会式まで参加する国を知らなかったのでインド、台湾、ロシア、ケニアなど世界中から集まっていることを改めて実感しました。大統領選挙の前日には今回のIYCの司会者からランダム

で「カマラ・ハリス」か「ドナルド・トランプ」のどちらが当選して欲しいか聞く場面があり、その意見がとても印象的でした。中にはアメリカ合衆国の大統領選挙は世界中の人々に選挙権を与えて欲しいという意見もあり、世界に大きく影響を与える選挙だと感じました。人によって意見は様々でしたが誰もが戦争が起きない世界になることを祈っていると知ることができました。この経験を忘れないように視野を広くして世界で起こっている出来事を考えていきたいと思います。

国際協力募金

2024年11月1日（金）～2025年1月31日（金）までの期間、全国のYMCAが一致協力して、国際協力募金キャンペーンを実施致しました。奈良YMCAでも、貧困で苦しむ人への支援、子どもの教育支援、戦争や紛争で傷ついた人のケアなど世界に広がるネットワークを通して取り組みました。今年度は、例年より更に会員の方々への周知を強めるために、「国際協力募金ワールドマップ」を作成して館内に貼り出し、募金に協力して下さった方に、スタートの日本から100の地図上のポイントにハートシールを貼って、世界と繋がることを視覚でわかるよう工夫しました。子どもたちは、地図に興味を持ってくれ募金箱をもってきてくれました。

また、チャリティーイベントとして、「チャリティースイミング」「チャリティーサッカー」を実施し、募金のねらいを伝えることと楽しく参加していただくことができました。ならこども園では「チャリティー試食会」と題して、保護者のお迎えの時間帯の90分、普段食べているおやつを園児たちが店員となり、お迎えに来る保護者に呼びかけ、食べてくださった保護者の方に募金をしていただきました。子どもたちは実際に募金の協力をお願いすることや、それに応えてくださることの喜びと困っている人たちへの力になったことを体験し、笑顔で表現していました。ご支援くださいました皆さま、ありがとうございました。

【募金総額】 838,599円

【募金使途】

（委託先）

（委託金額）

（公財）日本YMCA 同盟国際協力募金

400,000円

【協賛団体】 明光開発（株）、リフレ建設（株）、（有）グリーンスポーツ

【協力団体】 日本基督教団奈良教会、親愛幼稚園、

奈良大学附属幼稚園、白庭台幼稚園、

近畿大学附属幼稚園・小学校、（有）グリーンスポーツ、

伏見まつり

（順不同・敬称略）



地域奉仕事業

1. YMCA ポジティブネット募金、能登半島豪雨緊急支援募金

9月28日（土）～12月31日（火）

その他各種媒体を通しての復興支援や募金のキャンペーンを展開

2. 中学校職場体験

富雄南中学校 11月 6日（水） 7日（木） 8日（金）

伏見中学校 10月23日（水） 24日（木） 25日（金）

3. 水の安全キャンペーン

実施日 6月～8月

内 容 YMCA 水上安全ハンドブックを、近隣幼稚園、保育園、小学校にウォーターセーフティーハンドブックを配布した。6月16日（日）には、全国YMCAで取り組んでいる、ウォーターセーフティーキャンペーンとして、「みんな泳げる25m運動」や「着衣泳体験会」を実施した。

4. ピンクシャツデー

実施日 2025年2月17日（月）～3月3日（月）

内 容 青少年センターとスイミングでは、ロビーにピンクTシャツがデザインされた紙を設置し、“お友だちの良い所を見つけて書こう！”や“もし、お友だちが悲しい思いや、辛い思いをしていたらあなたならどうする？”をテーマにし、子どもたちがそれぞれの思いを書き、いじめについて考えてもらえる時間としました。

5. 学校関係指導者派遣

- ・大安寺小学校着衣水泳指導
- ・近畿大学附属小学校水泳指導
- ・一条中学校水泳指導
- ・ならやま小学校水泳指導
- ・奈良保育学院附属幼稚園水泳指導
- ・親愛幼稚園体操教室（通年）
- ・近畿大学附属幼稚園サッカー教室（通年）
- ・近畿大学附属幼稚園新体操教室（通年）
- ・近畿大学附属小学校サッカー指導（通年）
- ・白庭台幼稚園正課スポーツ教室（通年）
- ・白庭台幼稚園体操教室
- ・白庭台幼稚園サッカー教室

6. 西大寺まつり・伏見まつり

西大寺まつり 8月 3日（土）

伏見まつり 11月 2日（土）

西大寺北まつり 11月23日（土・祝）

地域の行事に参加し、地域の方々とはふれあいながら“ダンス発表”などを行いました。

7. 他団体協力（役員等就任等）

- ・奈良県キャンプ協会常務理事
- ・奈良県クラブユースサッカー連盟副会長
- ・奈良県体操協会理事
- ・奈良県ユニセフ協会理事
- ・奈良県子ども・若者支援団体協議会理事
- ・奈良市国際交流協会幹事
- ・わたぼうし音楽祭審査員
- ・NPO法人スペシャルオリンピックス日本・奈良理事

賛助会員 (2024年度・敬称略)

〈法人・団体賛助〉

(株)イタクラエナジーズ	代表取締役	板倉 昌三
共同精版印刷(株)	代表取締役社長	近東 宏佳
(有)グリーンスポーツ	取締役	横寺 大介
(株)甲南保険センター	代表取締役	田中真由美
奈良 OA システム(株)	代表取締役	松本 知
奈良交通(株)	代表取締役社長	田中 耕造
(株)奈良新聞社	代表取締役社長	田中 篤則
前川(株)	代表取締役社長	前川 貴洋
明光開発(株)	代表取締役社長	奥西 信夫
大和信用金庫西大寺支店	支店長	早川 秀人
リフレ建設(株)	代表取締役	森口 浩一
コール・マスキール		
タリス室内オーケストラ		
奈良 YMCA 善意通訳協会 (E.G.G.)		
ハート・ハース		

以上11社・4団体

〈個人賛助〉

上 田 清	金 智	望 月	強
植 田 國義	五 味	山 口	孜
内 田 彩子	佐 藤	吉 田	全 孝
遠 藤 徹 郎	高 橋		
遠 藤 通 寛	豊 澤		
大 谷 昌 三	林		
紇 谷 隆	人 見		
神 谷 尚 孝	姫 嶋		
(2025年1月3日ご逝去)	平 田		
神 谷 一 恵	細 山		

以上22名

〈維持会員〉

東 静 司	杉 浦	文 子	百 本	淑 子
岩 本 二 子	高 井	亮 吉	山 口	ル ミ
植 田 修 二	高 田	嘉 昭	山 田	静 代
内 田 勝 久	高 橋	文 子	山 本	薫
貝 本 泰 男	田 中	幸 一	与 語	章 浩
門 野 文 彦	辻	亮	吉 岡	正 昭
神 崎 清 一	德 田	健	渡 辺	新 久
北 林 秀 一	中 井	信 一		
北 林 秀 彦	中 野	敬 一		
北 林 成 子	鍋 島	祥 男		
北 村 高 史	濱 田	勉		
熊 巳 由 佳	林	佑 幸		
蔵 之 上 潔	藤 井	辰 男		
佐 々 木 誠 継	前 田	敏 宏		
佐 藤 公 一	前 田	未 帆		
汐 碓 直 美	松 川	和 子		
穴 戸 秀 子	水 田	典 男		
穴 戸 良 朗	水 野	藤 男		
島 村 知 歩	三 枝	隆		

以上45名

役員一覧 (2024年度・敬称略)

【奈良 YMCA】

会 長	北林 秀彦	副 会 長	鍋島 祥男
常議員会			
常議員会議長	前田 敏宏	常議員会副議長	熊巳 由佳
常 議 員	北林 秀彦 濱田 勉 中井 信一 北村 高史 山口 ルミ 水田 典男 山出紗野香	鍋島 祥男 辻 亮 内田 勝久 熊巳 由佳 汐碓 直美 前川 琴風 福井 香	徳田 健 佐藤 公一 前田 敏宏 林 佑幸 神崎 清一 村上 一志 上地 信親

【公益財団法人奈良 YMCA】

理事会代表理事	鍋島 祥男	上地 信親	
理 事	辻 亮 熊巳 由佳	濱田 勉	前田 敏宏
監 事	神崎 清一	水田 典男	
評議員会評議員	北林 秀彦 北村 高史 山口 ルミ	徳田 健 汐碓 直美	佐藤 公一 中井 信一

【社会福祉法人奈良 YMCA】

理事会理事長	濱田 勉		
副 理 事 長	上地 信親		
理 事	北林 秀彦 瀬川実沙子	佐藤 公一 水口 嘉代	栗原 宏介
監 事	内田 勝久	徳田 健	
評 議 員	鍋島 祥男 林 佑幸 高橋 豪仁	瀧口 勇 松野 五郎 村上 一志	中井 信一 汐碓 直美

ボランティアリーダー・研究生

青少年センター 〈ボランティアリーダー〉 安田 真理 東 花梨 中山 みゆる 岩崎 七海 石黒 遥 高畑 朋佳 栃木 美月 末吉 邦光	清水 龍美 宮田 吉村 田中 城山 北林 里 箸尾 高木 永見	芳 紘乃音 果 琴美 乃 咲愛 里 朱那 子 良倅 子 桜	中 村大島 大 山本 山 和田 〈サッカー研究生〉 木 村直寛 村 裕人 片 楓 山 綾 本 綾 末 石 瀧 川 笑玄	泰 士佳 步 翔生 希 夏 直 寛 裕 人 楓 真 綾 綾 笑 玄	〈新体操研究生〉 前 川 琴風 三 原 安素 野 々 村 奏 五 百 日和 〈器械体操研究生〉 武 田 莉子 西 川 潤太 平 居 紗耶	〈バスケット研究生〉 三 浦 知典 〈スミシング・ウエルネス〉 〈研究生〉 植 田 夏夢 松 木 勝也 前 川 大和 佐 賀 洸 肥 後 和	中 野太田 岡 嶋 遠 藤 松 木 大 井 竹 山 天 根 神	太 陽幸佑 佑 綾音 子 海奈 己 斗太 颯 颯	ポップクラブ 〈学生リーダー〉 末 吉 邦光 清 水 芳紘 岩 崎 七遥 石 黒

職員・スタッフ一覧

【公益財団法人奈良 YMCA】

〈総主事〉 上 地 信親	有 賀 佳子 高 橋 浩美	竹 本 加与子 井 上 敦子 辻 谷 浩子 佐 々 木 佳子 松 葉 美香 平 井 直子 佐 藤 ゆう	飛 鳥 博美 大 西 功	〈マリノバ科〉 大 西 由利子	〈大正琴科〉 有 地 康子	沖 垣 幸代	勝 本 聖代
〈次 長〉 村 上 一志	〈囑託〉 入 江 彰二	〈音楽院〉 〈ピアノ科〉 谷 口 淳子 井 村 純子 井 村 祐子 大 井 裕子	〈音楽院〉 〈ピアノ科〉 谷 口 淳子 井 村 純子 井 村 祐子 大 井 裕子	〈マンドリン科〉 石 村 隆行	〈ギタークラブあんだんて〉 兜 金 幸太	〈バレエ教室〉 高 坂 里絵 清 水 亜希子 山 本 裕子	おおぞら 佐 野 美歩 岸 本 知也 埜 田 伊公子
〈課 長〉 吉 永 俊弘 吉 村 宏子	青少年センター 〈ユーススポーツ〉 馬 場 淑子 望 月 実 松 原 唯人 田 中 結 大 矢 悠平	〈ドライバー〉 植 村 信吉 高 原 柄一 入 江 彰二	〈ヴァイオリン科〉 富 田 朋子 松 林 靖子 樽 井 奈都絵	〈音楽院〉 〈ピアノ科〉 谷 口 淳子 井 村 純子 井 村 祐子 大 井 裕子	〈アートアカデミー〉 〈児童絵画造形教室〉 今 西 由紀子 岩 崎 百 関 智生 安 田 隆 福 井 茉莉子 御 手 洗 友紀 宮 田 稜子	ポップクラブ 田 中 結 佐 野 美歩 山 本 奈補子 土 居 洋之 溝 川 弘子	〈ボランティア〉 田 中 まどか
〈指導職〉 西 田 美幸 有 田 惟純	〈専任講師〉 山 本 光彩 野 村 一穂 石 田 司 上 山 華子	〈末就・幼児体育〉 小 西 真衣 田 中 春佳 勝 本 聖代 平 居 莉那	〈チェロ科〉 高 田 能人	〈フルート科〉 桑 名 明子 谷 敏子	〈声楽科〉 奥 野 泰子	〈鑑前科ミネルヴァ科〉 今 西 由紀子 橋 本 利香 関 智生 岩 崎 百 御 手 洗 友紀 宮 田 稜子	〈学生リーダー〉 永 見 桜子 数 井 詩織
〈専任講師〉 山 本 光彩 野 村 一穂 石 田 司 上 山 華子	〈末就・幼児体育〉 小 西 真衣 田 中 春佳 勝 本 聖代 平 居 莉那	〈チェロ科〉 高 田 能人	〈フルート科〉 桑 名 明子 谷 敏子	〈声楽科〉 奥 野 泰子	〈鑑前科ミネルヴァ科〉 今 西 由紀子 橋 本 利香 関 智生 岩 崎 百 御 手 洗 友紀 宮 田 稜子	〈学生リーダー〉 永 見 桜子 数 井 詩織	〈子育て広場エンジェル〉 向 井 美香子 小 西 真衣 西 本 清美 勝 本 聖代 村 岡 加純 小 林 愛 上 久 保 久美子 加 藤 麗子
〈事務職〉 西 野 智子 竹 島 千恵 美 馬 祥代 藤 本 りか 武 田 あき 勝 浦 多恵 上 原 康予 南 岡 幸代	〈野外活動〉 藤 井 辰男	〈フリースクール〉 山 田 静代 福 呂 寛子 才 藤 絵美里 加 藤 誠 吉 村 宣子	〈ギター科〉 兜 金 幸太	〈二胡科〉 川 野 雅子	〈書道教室〉 丸 山 宏子	ことりクラブ 西 澤 智子 松 葉 美香 佐 藤 ゆう 和 田 美紀 横 野 優子	〈ボランティア〉 田 中 まどか

【社会福祉法人奈良 YMCA】

〈法人本部事務局〉	〈YMCA ならこども園副園長〉		梅 野 繫 子	明 石 茉 莉	青 木 美 樹	和 田 典 子
法人本部事務局長	濱 田 勉	島 津 静 子	葛 本 佳 子	西 尾 江 里 子	美 瑠 子	藤 田 礼 子
事務局長	水 口 嘉 代	〈YMCA ならこども園主幹保育教諭〉	西 村 友 香	森 本 麻 理 紗	北 島 安 友 奈	伊 藤 一 美
係員	吉 見 香 枝	西 山 由 衣	木 村 友 香	森 本 の な	三 島 村 結 衣	岡 村 有 沙
事務局次長	上 地 信 親		小 杉 衣 理	森 本 の な	三 村 結 衣	ハ ワー ド 美 夏
〈YMCA あきしのこども園園長〉			高 橋 み ら い	横 川 智 佳 子	中 原 真 由 佳	皆 己 美 恵
	山 出 紗 野 香		木 原 敦 子	平 城 あ か ね	扇 田 実 季	
〈YMCA あきしのこども園副園長〉	小 只 知 美	YMCA あきしのこども園	長 井 秀 子	久 米 恵 実	桑 原 晶 華	
〈YMCA あきしのこども園主幹保育教諭〉	松 川 有 里	中 村 菜 菜	吉 岡 由 利 子	小 林 紀 沙	田 中 愛 梨	
	山 口 絵 里	宮 下 夢 未	高 井 ま き	大 澤 菜 美	岩 崎 詩 歩	
〈YMCA 西大寺南保育園園長〉	畑 沙 也 加	原 田 風 音	福 田 す が 子	須 藤 美 佳	北 岡 永 李 香	
	松 本 育 実	平 野 寿 代	西 久 保 千 亜 希	森 山 由 紀 子	瀬 口 綾 幸 香	
〈YMCA 西大寺南保育園副主任〉	鎌 田 菜 摘	山 口 愛 優 理	橋 本 悠 以	風 呂 谷 日 菜 乃	猪 飼 美 歩	
	嶋 田 有 里	伊 藤 千 尋	橋 本 悠 以		渥 美 咲	
	和 田 真 理	樋 野 花 子	深 草 陽 子		西 谷 美 咲	
〈YMCA ならこども園園長〉	田 中 貴 子	中 村 愛 純	松 本 幸 恵	YMCA ならこども園	坂 本 浩 枝	
	嶋 崎 麻 里 菜	柿 坂 正 子	石 田 理 紗	内 田 美 智 子	渡 部 実 加	
	福 井 香	坂 口 照 子	上 野 智 子	竹 山 理 沙		

奈良YMCA賛助会員募集のご案内

皆様からのご支援によって支えられています

障がいのある子どもたちの
プログラム支援



ユースリーダーの養成



国際・地域奉仕や緊急支援



公開講座・研修会



奈良YMCAは、青少年の健全育成、障がいのある子どもたちのサポートプログラム、国際理解、文化教養、様々な世代の皆さんへのウェルネスプログラム、そして、ユース世代のリーダーシップ力養成、国際・地域奉仕や緊急支援など幅広い活動を展開し、心豊かな人々が息づく地域社会づくり、そして平和な世界の実現のために力を注いでいます。

これらの活動はYMCA賛助会員の皆様からのご寄付によってお支えいただいております。

ぜひ奈良YMCAの活動の趣旨にご賛同いただき、少しでもこれらの活動の輪を大きく広げるため、賛助会員としてご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

賛助会の種類 と年会費

個人賛助会費

A	30,000円以上
B	20,000円以上
C	10,000円以上
D	5,000円以上

法人賛助会費

A	50,000円以上
B	30,000円以上
C	20,000円以上
D	10,000円以上

団体・グループ

A	20,000円以上
B	10,000円以上
C	5,000円以上

寄附金控除・ 税制優遇措置 のご案内

公益財団法人奈良YMCAの賛助会費は、所得税、法人税、一部の自治体の住民税において、それぞれに定められている条件を満たすことで、税制優遇措置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。※なお、税額控除を受けるためには確定申告が必要です。

公益財団法人奈良YMCA本部事務局
<https://www.naraymca.or.jp/>

TEL 0742-45-5920



奈良YMCAの活動拠点



奈良YMCA本館

〒631-0823 奈良市西大寺国見町2-14-1
青少年センター TEL (0742) 44-2207
芸術文化センター・教育センター TEL (0742) 44-2291
法人本部 TEL (0742) 45-5920



奈良YMCAスイミング・ウェルネス

〒631-0824 奈良市西大寺南町14-27
スイミング・ウェルネス TEL (0742) 47-8822



奈良YMCA別館

〒631-0823 奈良市西大寺国見町1-7-31
YMCA西大寺南保育園
TEL (0742) 44-2525
奈良市子育て広場エンジェル
TEL (0742) 44-2291



YMCAあきしのこども園

社会福祉法人奈良YMCA法人本部
〒631-0813 奈良市秋篠新町338
TEL (0742) 49-2525



YMCAならこども園

〒631-0824 奈良市西大寺南町14-24
TEL (0742) 48-2525

奈良YMCA活動報告書 2024 - 2025

発行年月日：2025年7月1日

印刷・製本：共同精版印刷株式会社



FSC® マークは、森林破壊や違法伐採等の環境・社会的な問題のリスクの低い原材料が責任を持って調達され、使用されていることを意味します。